

第2回介助つきコミュニケーション研究会

『いのちの声を聞く』

平成28年11月19日土曜日 午後1時～5時00分

國學院大學横浜たまプラーザキャンパス411教室



介助つきコミュニケーションとは、手を添えるなどの介助を通して初めてできるコミュニケーションのことを言います。代表的なものは、介助者に手を添えられて文字を書く方法（筆談）と介助者に手を添えられて文字盤を指さす方法、介助者の「あかさたな…」という声に合図を送って文字を選んでいく方法です。

すでに多くの人々がこれらの方法で意思の表現が可能になっており、そのことによって当事者の生活は大きな変化を見せています。

この研究会は、このことを広く世の中に伝えていくことが目的です。

第2回目の研究会では、介助つきコミュニケーションと私たちが呼ぶ方法に、先駆的に取り組んでこられたお二人の先生をお招きして、歴史的背景についてお話をさせていただくことにしております。

笹本先生は、長年にわたり、国立特別支援教育研究所で、STA (Soft Touching Assistance) という名称のもと、こうした取り組みを進めてこられました。

また、鈴木先生は、はぐくみ塾を主宰される中で、筆談によるコミュニケーションの実践を重ねてこられ、現在筆談援助の会を通して、筆談の普及に努めていらっしゃいます。

きんこんの会シンポジウム「津久井やまゆり園の事件について」

また、今回は、7月26日に起こった津久井やまゆり園での事件について、きんこんの会のメンバーによるシンポジウムを企画しました。津久井やまゆり園で犠牲になった方々は、「意思疎通の困難な人」とされており、まさに、きんこんの会のメンバーと立場を同じくしています。その立場にある者だからこそ語りうる意見の表明です。

プログラム

1. 開会式
2. 講演1 笹本健先生（元・国立特別支援教育総合研究所研究部長）
3. 実践報告1 実践報告2
4. 講演2 鈴木敏子先生（筆談援助の会）
5. きんこんの会シンポジウム 「津久井やまゆり園の事件について」
（会終了後、7時まで懇親会を予定しています。）

問い合わせ先：〒225-0003 横浜市青葉区新石川3-22-1 國學院大學人間開発学部 柴田保之

ご参加希望の方は、下記のメールアドレスに、お名前とご所属、お住いの都道府県、懇親会の参加の有無を添えてお申し込みください。なお、参加者の概数を把握するためのものですので、お申し込みがなくても当日の参加は可能です。研究会参加費は無料です。

介助つきコミュニケーションや当事者の思いに関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。

連絡用メールアドレス kinkon@hope.zaq.jp